



栃木県民のための
地域精神医療情報ネットワーク誌

Okadai NEWS

令和4(2022)年 11月

vol.9



Contents

- Okadai活動紹介：臨床心理科
- 教えてドクター！：双極性障害ってどんな病気？
- 連載：診察室より
- 外来診療のご案内

写真：医局セミナー

当院の医局では、定期的にセミナー（講習会）を行っています。写真は新型コロナウイルスとインフルエンザウイルスについて講義している様子です。



敷地内 全面禁煙

当院では受動喫煙防止のため敷地内全面禁煙となっています。
受動喫煙の防止にご協力ください。

発行：（地独）栃木県立岡本台病院



臨床心理科では、公認心理師が精神科一般医療、アルコール及び薬物依存症の専門医療、精神科救急医療、医療観察法医療における臨床心理業務を担当し、多職種チーム医療の一翼を担っています。特に、司法精神医学、アルコール及び薬物依存症医療といった専門医療との関わりが深いことが特徴です。臨床心理科の具体的な業務内容は、以下のとおりです。

(1) 臨床心理学的アセスメント

心理検査や面接により、心理学的視点からの病理や障害の程度、人格や知的機能について、心理学的アセスメントを行っています。疾患の鑑別、今後の治療方針、退院後の生活設計等を考えるための判断材料として、また、精神鑑定を行う上で不可欠の判断材料となっています。



(2) 臨床心理学的援助・相談



「個別援助」では、心理検査の結果に基づくコンサルテーション（相談）などを行っています。

医療観察法による指定通院や指定入院では、院内の多職種チームだけではなく、保護観察所等の他機関とも情報を共有し、個別援助を進めています。

「グループ」では、ファシリテーター（進行役）として認知行動療法に基づく依存症外来プログラムを実施しています。また、アルコール外来・入院プログラムや、アルコール家族教室の講師を担当しています。

医療観察法による指定入院では、治療ステージや個別の課題に対応するプログラム（認知行動療法・内省プログラム等）を実施しています。

(3) 多職種チーム医療の提供及び地域や関係機関との連携

院内の多職種チームによる治療、地域支援、医療観察法に基づく医療では、心理学的な視点からのアセスメントや関わりを求められており、協働する専門職としてきめ細やかな判断やコミュニケーションに努めています。





教えてドクター！ 双極性障害ってどんな病気？

● 双極性障害ってどんな病気？

双極性障害は、以前「躁うつ病」とよばれていました。しかし躁状態とよばれる状態がはっきりしない人や、かなり軽い人もいることがわかり病名が変わりました。「ずーっと落ち込んで引きこもっていたのに、突然乱暴な人になってしまってしばらくしたら元に戻った」なんて方、近くにいませんか？

● 躁状態ってなに？

躁状態は、高揚した気分と精神的活動性の量と速度の増加がみられるものと言われています。文字にすると難しいですが、例えば「憧れのアイドルとお話してきた！」のような舞い上がった気分が、弱まらずに3か月も続いたら疲れてしまいますよね。実際には楽しい気持ちも、イライラした気持ちも強まってしまうので、もともとおっとりした人が毎日怒りっぽくなって早口でずっと怒鳴り続けるようなことが起きます。必要のないのに大きな買い物をしてしまったりして、困ったことになってしまう場合も…。

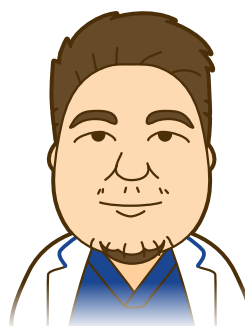


● うつ状態ってなに？

うつ状態は、おそらく皆さんが想像するように、「気分が落ちこむ」がさらに強く、長く続くことです。抑うつ気分、興味・喜びの喪失などがみられます。例えば、働き者で週末ドライブが趣味だったのに、ドライブにも仕事にも行こうとしなくなってしまった…というような状態です。落ち込んだときはご飯ものどを通らず、すごくやせてしまう人もいます。

● 双極性障害ってどうしたらいいの？

双極性障害は、治療することで今まで通りに生活ができることが多い病気ですが、自分で気づくことが難しい病気でもあります。ご家族やお友達が発見すること多いと思いますので、まわりにそういう方がいたら一緒に相談に来てみませんか？



救急病棟医長
竹内 祥貴

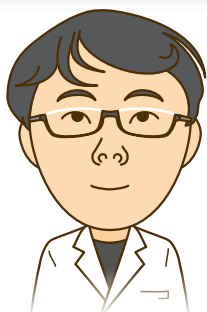
Takeuchi Yoshitaka

◆資格・学会認定等

- ・精神保健指定医
- ・臨床研修指導医
- ・日本精神神経学会専門医
- ・日本精神神経学会指導医

連載

診察室より



第2病棟医長
白木 亮祐

Shiraki Ryosuke

◆資格・学会認定等

- ・精神保健指定医
- ・臨床研修指導医
- ・日本精神神経学会専門医
- ・日本精神神経学会指導医

2019年から発生した新型コロナウイルス感染症も今年で4年目となりました。患者さんには日頃から来院時の体温測定やマスクの着用などの協力をしていただいております。

執筆している9月現在、世間では第7波が到来、高齢者や医療従事者を中心にワクチンの4回目も開始されました。あとどれくらい続くのだろうという不安の中、日々診療を行っています。

当院でも新型コロナウイルス感染症が発生しました。当院のような精神科病院の構造上、一旦、病棟にウイルスなどによる感染症が侵入すると、蔓延しやすい環境にあります。その中で患者さん、職員の協力のおかげで感染拡大はなく短い期間で収束しました。多種多様なご支援、心から感謝申

上げます。

一方で、WHOより「パンデミックの終わりが視野に」という発言が目立っています。一部報道やSNSでは発言の一部を切り取って情報が流れているため、感染対策を緩めてよいと解釈している方もいるかもしれませんが、しかし決して感染対策を緩めて良いというわけではなく、終息しつつあるからこそ感染対策を緩めるなという趣旨の内容です。

4年間という長い期間、感染対策を続けていて心身とも限界に達し、今回の第7波が最後の波になってほしいと心から思っている方も多いと思います。そうなるように引き続き、手洗いうがいを含めた感染症対策のご協力をお願いいたします。

外来診療のご案内

予約受付 電話番号 **028-673-2211**

診療受付時間【月～水曜日】 8:50～11:00
【木・金曜日】 8:50～15:00

予約受付時間【月～金曜日】

- 初診予約 14:00～16:00
- 再診予約及び予約変更 12:00～16:00

■当院の外来は全て【予約制・主治医制】となっています。

初診・再診に関わらず、予約時間を守って受診していただくようお願いいたします。

■主治医によって受付順が前後することがありますので、ご了承ください。

■当院では医薬分業の一環として、外来患者様には【院外処方せん】をお薦めしています。
詳しくは、主治医又は薬局にご相談ください。

外来担当医一覧

精神科一般外来

統合失調症、双極性障害、不安障害など、幅広い精神疾患に対し、精神療法や薬物療法を用いて治療に当たります。

	月	火	水	木	金
初診	(交代制)	(交代制)	(交代制)	寺石*	(交代制)
再診 (9:00～)	天野 山口 小林 市川	田中 三浦 田崎 岡田*	高橋 織田 豊田	竹内※ 白木 北林 寺石*	原 光野 田崎 清田*
再診 (13:00～16:00)				寺石*	清田*

*非常勤医師

※10時台の診察なし

アルコール・薬物専門外来

アルコール依存症の治療が中心ですが、栃木DARCと協力して薬物依存症への支援や
近年問題となりつつあるインターネット依存やギャンブル依存にも対応できるよう準備しています。

	月	火	水	木	金
初診				山口	田中
再診	天野・山口	山口	天野	天野	北林

上表は令和4(2022)年11月1日現在のものです。最新の情報につきましては病院ホームページにてご確認ください。

交通のご案内

交通機関をご利用の場合

- JR宇都宮線・岡本駅西口から徒歩15分(タクシーで5分)
- JR宇都宮駅からタクシーで15分
- 宝木団地発(JR宇都宮駅経由)の関東バス
「奈坪台中央(奈坪台)」行き「金井台中」下車徒歩5分、
又は「釜井台団地」行き「釜井台団地入口」下車徒歩10分

お車をご利用の場合

- 東北自動車道、宇都宮ICから30分
- 北関東自動車道、上三川ICから30分



精神科救急医療相談電話のご案内

夜間・休日に具合が悪くなり、かかりつけの医療機関に相談できないときは、下記の精神科救急医療相談電話にご相談ください。

☎ **0570-666-990** 平日/17:00～22:00 土日祝日/8:30～22:00 ※休日夜は24時間受付

編集後記

晩秋の冷気が身にしみる今日この頃、皆様お元気にお過ごしですか。令和2年10月に発刊しました Okadai NEWS も今回で9回目の発行となりました。引き続き、当院の活動や精神医療について、役に立つ、わかりやすい情報をお届けしていきたいと思ひます。

(広聴広報委員会)

本誌に対するご感想やご意見等をお待ちしております。
下記 Email アドレス宛てにご連絡ください。

Email: info@okamotodai.jp

※右記のQRコードを読み取りいただいても結構です。



地方独立行政法人
栃木県立岡本台病院

〒329-1104 宇都宮市下岡本町2162
TEL 028-673-2211 FAX 028-673-2214



【岡本台病院 HP】